

2015年6月1日

IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスター

NPO 法人大学図書館支援機構

1. IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスターの趣旨

IAAL は、大学図書館で働く専任職員と非専任職員に、大学図書館業務の実務能力に関する自己研鑽と継続学習の目標・機会を提供することを目的として、2009年に「IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験」（以下、IAAL 認定試験と略す）を開始した。2015年1月現在、IAAL は、以下の5種類の IAAL 認定試験を実施している。

- ・ IAAL 認定試験「総合目録－図書初級」
- ・ IAAL 認定試験「総合目録－図書中級」
- ・ IAAL 認定試験「総合目録－雑誌初級」
- ・ IAAL 認定試験「総合目録－雑誌中級」
- ・ IAAL 認定試験「情報サービス－文献提供」

IAAL 認定試験で設定した3領域（「総合目録－図書」「総合目録－雑誌」「情報サービス－文献提供」）の知識・実務能力は、図書館サービス（間接サービスと直接サービス）の基盤であり、3領域の知識・実務能力を兼ね備えた人材が求められている。

そこで、IAAL は、IAAL 認定試験の受験・合格を通じて、5種類の試験の知識・実務能力の自己研鑽と継続学習に努めた者を認定し、大学図書館業務に携わる者の自己研鑽の努力を奨励するとともに、大学図書館業務に携わる者のキャリア形成に資することをねらいとして、「IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスター」（略称、IAAL 試験マイスター）を新設する。

2. IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスターの概要

IAAL 試験マイスターには、以下の3段階（ランク）を設ける。

- ・ IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスター（ブロンズ）
- ・ IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスター（シルバー）
- ・ IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスター（ゴールド）

IAAL 試験マイスターでは、IAAL 認定試験に、3種類合格した者は（ブロンズ）、4種類合格した者は（シルバー）、5種類合格した者は（ゴールド）を、それぞれ認定申請できる。

3. IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスターの認定と審査

IAAL 試験マイスターの認定を受けるには、IAAL 認定試験の合格者本人が、所定の書式に基づいて申請し、IAAL 事務局が申請書類に基づき審査する。

4. IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスターの称号

IAAL 試験マイスターに認定されると「IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスター（種別）」の称号と認定番号が付与され、認定証が交付される。申請段階で、氏名と称号の公開を承諾した者は、IAAL の Web ページ等で公開する「IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験マイスター名簿」に、認定番号と氏名が掲載される。

5. 認定要件

IAAL 認定試験を受験し、3 種類以上の IAAL 認定試験に合格している者。

6. 申請手続き

IAAL の Web ページ上の申請書類に必要事項を記入し、電子メールもしくは FAX で IAAL 事務局に申請する。

7. 申請受付

2015 年 7 月以降、随時、受け付ける。当面の間、申請費用は無料。